

耐候性


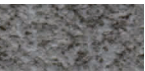



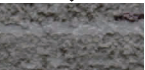
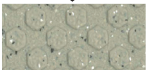



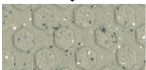



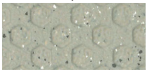





マンションの開放廊下やルーフバルコニーなどに使用される床材は、直射日光に含まれる紫外線や熱・雨水など自然環境の影響による変質や変色などの、劣化に耐える性能が求められます。なかでも紫外線は合成樹脂材料を劣化させやすいため、紫外線などへの耐性が床材の耐候性の大きな目安となります。

【試験方法】・・・ JIS A 1415 高分子系建築材料の実験室光源による暴露試験方法 「キセノンアークランプによる暴露試験方法」

キセノンアークランプによる暴露試験の後、外観変化の程度を変退色用グレースケールにて判定します(JIS L 0804に準拠)。

－ 試験条件 －
ブラックパネル温度 : $63 \pm 3^{\circ}\text{C}$
放射照度 : $0.51 \pm 0.02 \text{ W} / (\text{m}^2 \cdot \text{nm}) [340 \text{ nm}]$
水噴霧サイクル : 120分中18分間

【試験結果】

光源照射時間	PX-530	PX-201	PX-4620	PX-4802
試験前 0時間				
1000時間				
2000時間				
3000時間				
4000時間				



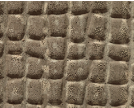
※上記データは当社基準による評価です。

【試験方法】・・・ EMMAQUA法による屋外集光式促進暴露試験

米国アリゾナ州フェニックスで実際の太陽光を集光利用し、実際の暴露条件と同じ昼夜のサイクルを再現したEMMAQUA試験機にて実施後、外観変化を観察します。

－ 試験条件 －
積算放射エネルギー量 : 約 $32,000 \text{ MJ} / \text{m}^2$ (年間)
※銚子市 : 約 $4,659 \text{ MJ} / \text{m}^2$ (年間)
水噴霧サイクル : 昼間 120分ごとに8分噴霧
夜間 8分間噴霧を3回

【試験結果】

屋外暴露期間	PX-530
試験前	
4ヵ月	
8ヵ月	

※上記データは当社基準による評価です。

◇実際の施工状況(建物の周辺環境)では、紫外線その他、寒暖の温度変化や雨水などの要因が重なりあって床材を劣化促進させることもあれば、その影響を受けにくい場所に施工される場合もあります。そのため、個別の性能試験だけでは十分な耐候性能を把握することができません。この耐候性試験結果はあくまでも試験値であり製品寿命を示すものではありません。